

## 令和8年3月議会定例会一般質問

No. 1  
通告順

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
1. 少子化が進んでいる。より良い教育を受けるためにも、小学校・中学校の統合が必要と思われます。	<p>(1) 町長施政方針で、小中一貫校・他地域との統合の議論を進めるとあるが、具体的な検討・研究はされているか伺う。</p> <p>(2) 施設の利活用についても、同時に検討を行うか伺う。</p>	9番 高橋 進
1. 持続可能な下水道事業について	<p>(1) 広報1月号の「令和6年度の地区別下水道の水洗化状況」について（資料提出） 接続済世帯で空家等で実際に使用していない戸数は</p> <p>(2) 一般会計から事業会計への繰り出しルールについて</p> <p>(3) 地震等により下水道施設が破損した場合の対応は</p> <p>(4) 今後の人口減少が進む中、特環と農集排施設はどのように維持していくか</p> <p>(5) 集合処理から個別処理について</p> <p>(6) 施政方針には、適正な上下水道料金の審議を上下水道審議会で行う予定となっている。それまでに将来人口予測に合わせた下水使用料金と一般会計からの繰出金のシミュレーションの作成について</p>	4番 近藤 隆

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
<p>1. 今任期における中間評価を</p> <p>2. 不安じゃなく夢を持てる南木曾にするには</p>	<p>町の人口を増やす、もっと働く議会にと言っ て、議員にさせていただき任期も半分が過ぎよ うとしています。しかし、この2年間で3,713 人いた人口は(R6/3/31) 現在、玄関先の掲示板 によると3,580人と減少に歯止めがかからない 状況です。</p> <p>私自身、議員として町の為になっているのだ ろうか？前例踏襲主義のこのままで未来につ ながる何かを成し遂げられているのだらう か？ 本当に危機感を持った町政運営に参画で きているのか？いつも自問自答していること を質問させていただきます。</p> <p>いま、この進め方のままで町は元気になるの か？町長が目指す町の姿に対しこの2年間の 成果はどのように出ているのでしょうか？と ても心配です。お願いいたします。</p> <p>役場で働く職員さんの平均年齢を教えてく ださい。</p> <p>私の世代まではギリギリ逃げ切れるでしょ う。しかし40代以下の若者たちへ公共施設を 含むインフラ施設や住めない空き家等、どうに かしくてはいけない問題を先送りしてもい いのか？総合計画は策定されてはいます。がし かし時代の変化に対応したフレキシブルな町 政を皆で共有したいと思いますがどう思われ ますか？</p>	<p>2番 藤原 昭次</p>



質問事項	質問の要旨	質問者
1. 妻籠宿町営駐車場の有効活用と提案について	<p>(1) 第1、第2、第3駐車場のそれぞれの料金収入は。また地代はいくらか。過去10年間の統計は。</p> <p>(2) 閑散期または平日に空いているスペースの有効活用はされているか。</p> <p>(3) 電気自動車(EV車)が増えてきている中で、充電設備が足りていないと聞く。環境意識の高い観光客へのアピール、妻籠宿滞在時間の増にも繋がる。そろそろ数台導入してはどうか。</p>	3番 伊藤 寿子
<p>1. 平和のために町の歴史を語り継ぐ</p> <p>2. リニア計画への対応</p>	<p>(1) 戦後80年を経て、満蒙開拓の歴史はどこまで分かってきたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満蒙開拓の歴史など、今回の町史編纂への評価は</li> </ul> <p>(2) 町の歴史を語り継ぎ、戦後を維持していくこと、平和について学んでいくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・殉国慰霊塔などの史跡の保存や資料の発掘と記録を</li> <li>・非核平和都市宣言の町でもあり、平和への取り組みを</li> </ul> <p>(1) 工事に伴う水資源の状況はどうなっているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妻籠水道水源保全地区の観測データについて</li> <li>・減溺水が予想されるなかで、町の対応は</li> <li>・R6年度調査結果への県の助言について</li> </ul> <p>(2) 水資源の恒久的補償の確約について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予備的措置に関する協定書の役割りの確認</li> <li>・減溺水時の恒久的補償の課題と確認書の見直し</li> </ul>	7番 坂本 満

質問事項	質問の要旨	質問者
2. リニア計画への対応	(3) 発生土と盛土への対応 ・発生土運搬土量の公表を ・大規模盛土への懸念事項について ・富貴畑事業の造成地の場合 ・押出北発生土置き場予定候補地の場合	7番 坂本 満
1. 南木曾町の施政方針（予算編成方針）について	(1) 行財政運営について 国の令和8年度一般会計予算は122.3兆円の大型予算として審議されているが、国がリードしようとする「強い経済」と経済成長戦略のためには必然的に国債の発行など財政出動が必要となり、これが逆に借金大国と評価される日本の弱点と評価されて円安が進み、さらに輸入物価が上昇することで日常生活にも負担増となる。 加えてアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃が勃発し、今後は原油供給の不安から益々物価が高騰する懸念が出始めた。 現在南木曾町では国の7年度補正予算による物価高騰や高料金対策などの降って湧いたような給付金が町民に支給されているが、小規模自治体である南木曾町としては、当初予算が上程されたばかりで恐縮ではあるが、令和8年度はこれまで以上に情勢・情報アンテナを高くして行財政運営する必要があると思うがどうか。	8番 山崎 隆二

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 者
<p>1. 南木曾町の施政方針（予算編成方針）について</p>	<p>（2）財政出動と住民への説明について</p> <p>町の経常収支比率は約 83%つまり 41.9 億円のうち 35 億円は支出先が固定されている状況のため裁量的支出は約 7 億円に限られことになるが、こども園や小中学校の給食費の無償化政策や、入学記念品としての画一的ランドセルの贈呈等の子育て支援策に財政出動を傾注する場合には、過去に恩恵がない世帯や、子育てが終わった世帯を含み財政出動の思恵を受けられない高齢世帯を含む納税者への説明と理解促進が必要である。</p> <p>こうした無償化政策は、対外的な PR 感はあるが、住民意識の中に「当たり前感」と不公平感の両方を醸成してしまうことが懸念される。</p> <p>住民からいただく税金を少子化や子育て支援の名目で無償化＝公費負担へ財政出動する政策についての納税者への説明と住民理解・住民合意を丁寧に進めていく必要があるのではないか。</p>	<p>8 番 山崎 隆二</p>